

山口県 柳井市立柳井中学校



	氏名	校長・教員
監督名	松前 優	○
コーチ	中村 光太	○

学校長	清時 崇文
学校所在地	山口県柳井市柳井4155番地
電話	0820-22-0405

背番号	選手氏名	ふりがな	位置	学年	投	打
①	山本 隆章	やまもと たかあき	投手	3	右	右
②	長川 友咲	ながかわ とわ	捕手	3	右	左
3	粕川 大樹	かすかわ だいき	一塁手	3	右	右
4	野原 颯介	のほら さすけ	二塁手	3	右	左
5	振本 隼汰	ふりもと はやた	三塁手	2	右	右
6	中村 憲太	なかむら けんた	遊撃手	3	右	右
7	山下 海響	やました うきょう	左翼手	3	右	右
8	内村 拓也	うちむら たくや	中堅手	3	右	右
9	田代 歩	たしろ あゆむ	右翼手	3	右	右
10	稲田 吏翔	いなだ りと	外野手	3	右	右
11	川崎 太我	かわさき たいが	投手	3	右	左
12	宮重 翔	みやしげ かける	捕手	2	右	右
13	野本 康生	のもと こうせい	内野手	2	右	右
14	上田 春喜	うえだ はるき	内野手	3	右	右
15	松村 晃誠	まつむら こうせい	外野手	2	右	左
16	高村 怜	たかむら れい	外野手	2	右	右
17	荒堀 秀斗	あらかほり しゅうと	外野手	2	右	左
18	今村 拓真	いまむら たくま	外野手	2	右	右

第40回 全国中学校軟式野球大会 出場校紹介

中国ブロック 第2位	ふりがな やまぐちけん	やまぐちけん	やないしりつやないちゆうがっこう								
	学校名	山口県	柳井市立柳井中学校								
チームの戦力分析											
1 投手について											
<p>エース山本は力のある直球と多彩な変化球を織り交ぜた投球で、中国大会全試合を投げ抜いた。予選を通じて防御率が良く、県大会準決勝では6回まで完全試合のノーヒットノーラン。中国大会決勝でもノーヒットピッチングと安定感がある。全国大会では140km/hをめざす。長川、川崎、振本は制球が安定しており、テンポ良く投げ込む。山口県予選準々決勝、決勝では、接戦を継投で乗り切った。捕手も務める長川が、それぞれの投手の持ち味を引き出し、様々な配球パターンでアウトを重ねる。</p>											
2 守備について											
<p>派手さはないが、豊富な練習量で培った捕球技術を武器に堅実なプレーを心掛ける。予選では、自分たちの能力を最大限に生かしたポジショニングや状況判断で投手陣を盛り立てた。選手会長でもあるショート中村が守備の柱。振本、宮重は2年生ながらフットワークが良く、ミスがない。高村、荒堀、内村の外野手は、一歩目の速さで広い守備範囲を誇る。緊迫した場面での守備練習を重ねてきたことが、自信となっている。全国の舞台でも平常心で守りたい。</p>											
3 攻撃について											
<p>『雪崩野球』をテーマに、数十種類の攻撃パターンを磨いてきた。俊足好打の長川がトップバッターとして高い出塁率と勝負強さでチームを牽引する。山本、粕川、山下は長打が期待でき、フェンスオーバーの力がある。振本、荒堀、野原、内村の安全カルテットは粘り強く、持ち味を発揮する。その他にも見極めの良い田代、思い切りの良い上田、川崎、全国大会出場をたぐりよせる決勝打を放った勝負強い稲田など個性豊か。宮重、高村、野本、松村、今村の2年生軍団も意外性があり期待できる。</p>											
4 チームの特徴											
<p>『勝喜負悔』を合い言葉に、「勝って喜ばれ、負けて悔しがられる、応援されるチーム」をめざしている。OBが築き上げてきた伝統に加え、常に新しい野球を追究している。現チームのスローガンは『VS.自分≧大人』。激しい練習の中、自分との勝負に勝ち続けることで「強さ・しぶとさ」を培ってきた。また、キャプテン2人制を取り入れ、チームリーダーの強化を図ってきた。目標は『日本一』。父母会のバックアップのもと社会人チームとの練習試合や九州や四国など県外遠征も重ね、経験を積んできた。部員、父母会、OB、地域の方々が一体となり、【柳中スタイル】を披露する。</p>											
5 全国中学校軟式野球大会出場回数	1回	6 チーム成績(練習試合を含む)	152勝 18敗 6分								
7 本大会までの軌跡(大会ごとに対戦相手とスコアを記入してください)											
大会			大島・柳井・熊毛 地区大会	都道府県大会			ブロック大会				
回戦	スコア	対戦校	回戦	スコア	対戦校	回戦	スコア	対戦校	回戦	スコア	対戦校
			準決勝	9-1	平生中	2回戦	2-1	高千帆中	2回戦	6-0	倉吉東中
			決勝	3-2	田布施中	準々決勝	3-1	豊北中	準決勝	2-1	倉敷第一中
						準決勝	2-0	東部中	決勝	0-1	大田第二中
						決勝	3-1	大内中			
8 学校紹介(開会式のアナウンスの参考にさせていただきます)											
<p>本校は、71年の歴史と伝統を持つ、全校生徒550名の大規模校で、おだやかな瀬戸内海の海沿いにあり、スポーツの盛んな町の中心に位置している。江戸時代に商人のまちとしてにぎわいを見せた静かなたたずまいの「しらかべの町並」は本校の校区内にあり、柳井市民のシンボルともなっている。校舎内には多数の美術作品を展覧しており、「学校美術館」としても有名である。校訓は『誠実・自主・創造』。『がんばりと優さを発揮する生徒』をキーワードに生徒がいきいきと学校生活を送っており、品格のある学校である。バドミントン部は全国大会の常連であり、陸上長距離部やバスケットボール部は全国大会を経験するなど、部活動においても『がんばり』を発揮している。</p>											
9 主将の抱負											
<p>昨夏の悔しさを一年間引きずり続け、『VS.自分』で日々努力を重ねてきました。予選では、苦しい試合が続きましたが、培ってきた「強さ・しぶとさ」を発揮し、『雪崩野球』で勝利を手にすることができました。しかしながら、中国大会決勝戦で負け、再び大きな悔しさを味わいました。「絶対全国・最低8・最高日本一」を目標に取り組んできました。中国大会での悔しさをぶつけ、最終目標まで到達し、父母会やOBのみなさん、応援してくださっているみなさんに恩返しをしたいと思えます。</p>											